

1. 大学運営手法について

目指す大学の姿（ビジョン）

1. 地域医療の発展に貢献する大学

- ・ 医療・看護に関する教育・研究を通じて、医療の高度化、ニーズの多様化への対応や地域医療の発展に貢献できる人材を輩出する大学

2. 地域に開かれた大学

- ・ 大学教育、研究で得られる知見を市民参加型の活動によって地域へ還元し、市民と学生が交流し、地域と大学が共に協力し合うことのできる大学

3. 就学意欲の高い学生が学べる大学

- ・ 経済状況を問わず、意欲の高い学生が就学出来る大学

4. 特色あるカリキュラムや充実した施設のある大学

- ・ 在宅医療・災害医療、地域特性を踏まえた特色あるカリキュラムのある、新たな医療環境への対応や学生が魅力を感じる施設を有する大学

2. 大学運営手法

1. 運営形態

市直営または公立大学法人

※私立では市の意思（大学の目指す姿）が反映しにくい
（現時点で看護系大学の進出意向はない）

2. 運営手法

以下の理由から「公立大学法人」が最適と考える

① 経営の独立性・柔軟性

- ・ 地域医療の課題や様々なニーズへの対応に向けた迅速な運営意思決定が可能
- ・ 弾力的かつ効率的な予算執行により、最適な大学経営が可能

② 人事面の柔軟性

教職員の兼務や独自規定による雇用条件の設定など、柔軟な人員配置が可能

③ 質の高いサービスの提供が可能

授業評価など学生目線での大学運営が行われ、より魅力的で学生に選ばれる大学が実現可能

3. 運営方法の種類・特徴

		公立大学法人	市
大学の設置者		市	市
大学組織運営	組織運営	市から独立した法人	市の内部組織
	職員の身分	非公務員（法人職員）	公務員
	大学運営	人事、予算執行など 法人独自の大学運営	予算執行等は議会承認を要する
整備・運営	施設整備	市	市
	運営費用	市からの運営費交付金 授業料、寄附金等	市の予算、授業料、 寄附金等
教員の確保	確保の方法	・法人が主導 ・学長等の人脈、公募 (条件は法人の意向に基づく)	・市が主導 ・市職員として採用
	雇用条件	・独自の給与設定 ・多様な雇用形態 (他大学との兼務等)	・条例や規定等による制約
学生の確保	学費等	私立に比べて安価	私立に比べて安価
	動向	信頼・安定性から人気が高い	信頼・安定性から人気が高い

※参考 民間学校法人（私立）	
民間学校法人	
民間学校法人の内部組織	
民間学校法人の職員	
人事、予算執行など 独自の大学運営	
民間学校法人	
授業料、寄附金等	
・民間学校法人が主導 ・学長の人脈、公募 (条件は法人の意向に基づく)	
・独自の給与設定 ・多様な雇用形態 (他大学との兼務等)	
公立に比べて高価	
各私立大学により差が大きい	